

## 安全データシート



### 1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室  
 担当者 : 認証標準物質担当  
 電話番号 : 029-861-4059                      ファックス番号 : 029-861-4009  
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2010年1月7日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 6401001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 6401-a  
 コルチゾール分析用ヒト血清 (4濃度レベル)

Cortisol in Human Serum(4 concentration levels)

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、コルチゾール分析用ヒト血清であり、コルチゾールの濃度レベルが異なる血清試料である。機器分析による血清中コルチゾール測定における分析機器の校正に用いるほか、分析機器の精度管理、分析方法や分析装置の妥当性確認に用いることができる。また、血清中コルチゾールの免疫化学的測定法では、コミュニティのある場合に分析機器の精度管理や分析値の確認に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。  
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類できない  
 GHSラベル要素 : -  
 注意喚起語 :  
 危険有害性情報 : -  
 その他の有害性情報 : 本標準物質はヒト血清を材料としている。HBs抗原、HCV抗体およびHIV抗体の検査は陰性であるが、感染性は否定できない為、使用の際は保護手袋を着用するなど、検体と同様に十分注意して取り扱うこと。

注意書き : [安全対策]  
 点眼、服用、注射は絶対に行わないこと。  
 使用の際は保護マスクや保護手袋、保護眼鏡等を着用し、口に入ったり皮膚に付着したりしないよう十分注意する。  
 [応急措置]  
 飲み込んだ場合 : 水道水で口の中を十分に洗浄する。  
 眼に入った場合 : 直ちに水道水で十分洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：多量の水又は石鹼水でよく洗浄する。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には医師の診断を受ける。

[保管]

直射日光を避け、-20℃以下で保存すること。

[廃棄]

廃棄物に関する規定に従って、医療廃棄物又は産業廃棄物の区別をして廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分 1

化学名又は一般名 : ヒト血清

化学特性 : -

分子量 : -

CAS 番号 : -

含有量 : 99 %以上

官報公示整理番号(化審法) : -

官報公示整理番号(安衛法) : -

成分 2

化学名又は一般名 : コルチゾール

別名 : ヒドロコルチゾン

化学特性 :  $C_{21}H_{30}O_5$

分子量 : 362.46

CAS 番号 : 50-23-7

含有量 : 0.2~200  $\mu g/L$

官報公示整理番号(化審法) : -

官報公示整理番号(安衛法) : -

### 4. 応急措置

吸入した場合 : -

皮膚に付着した場合 : 多量の水又は石鹼水でよく洗浄する。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに水道水で十分洗眼し、異常があれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水道水で口の中を十分に洗浄する

応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : 周辺火災適応消火剤。

火災時の特有危険有害性 : なし。

特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器

は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。  
 消火を行う者の保護 : 防火服、空気呼吸器等の保護具を使用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。  
 保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。  
 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。  
 回収、中和 : 少量の場合は水拭きする。多量に漏出した場合には水で洗い流す。  
 二次災害の防止策 : -

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 特になし。  
 局所排気・全体換気 : 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。  
 安全取扱注意事項 : 点眼、服用、注射は絶対に行わないこと。  
 使用の際は保護マスクや保護手袋、保護眼鏡等を着用し、口に入ったり皮膚に付着したりしないよう十分注意する。

### 保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、-20℃以下で保存する  
 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 保護具

保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

・外観 : 液状  
 ・色 : 淡黄色  
 ・臭い : データなし  
 ・pH : データなし  
 ・融点 : データなし  
 ・沸点 : データなし  
 ・引火点 : データなし

- ・爆発範囲 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・相対蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- ・比重又は嵩比重 : データなし
- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール/  
水分分配係数 (log Po/w) : データなし
- ・自然発火温度 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

- ◇安定性
  - ・通常条件で安定である。
- ◇反応性
  - ・データなし
- ◇危険有害反応性
  - ・データなし
- ◇避けるべき条件
  - ・データなし
- ◇混触危険物質
  - ・データなし
- ◇危険有害な分解生成物
  - ・データなし

## 11. 有害性情報

有害成分は特に含まれていないが、安全を確保するために、口に入ったり皮膚に付着したりしないように取扱いには十分注意すること。

その他

※有害性情報については、混合物としての情報がないため、原材料の情報より作成しています。本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

## 12. 環境影響情報

- 生態毒性
  - ・データなし
- 分解性・濃縮性
  - ・データなし
- 生体蓄積性
  - ・データなし
- 土壌中への移動性

- ・データなし
- オゾン層への有害性
- ・データなし

### 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却法  
 スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。  
 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。なお  
 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専  
 門の廃棄物処理業者に委託処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

### 14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 該当なし  
 国連分類 : -  
 品名 : -  
 容器等 : -  
 ICAO/IATA : 該当なし  
 海洋汚染物質 : 該当なし  
 注意事項 : 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、粗暴な取扱いをしないこと。

### 15. 適用法令

適用法令なし

### 16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。